

第 47 回 京都放射線腫瘍研究会プログラム

日 時：平成 31 年 3 月 9 日（土）14:00～

場 所：京都ガーデンパレスホテル 2 階「葵」

京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町 605 Tel 075-411-0111

会 費：2,000 円

日本放射線腫瘍学会 (JASTRO) 認定医更新 0.2 単位

日本医学放射線学会 放射線科専門医 認定更新 2 単位 が適用されます

(14:00-14:10)

【製品紹介】「進化する Varian の放射線治療システム」

株式会社バリアン メディカル システムズ マーケティング部 清水宏将

(14:10-14:40)

【Ⅰ-①部】一般演題

座長 岡山中央病院 金重 総一郎

発表時間 1 演題 10 分(発表 6 分、質疑 4 分)

1. 「当院の転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療の治療成績」(14:10-14:20)

天理よろづ相談所病院

米山正洋、石田祐一、根来慶春

2. 「根治照射を行ったⅢ期 非小細胞肺癌の治療成績」(14:20-14:30)

滋賀県立総合病院

池田格、迫田万理恵、松木清倫、岩崎甚衛、山本裕之、西谷拓也、久米大智、山田茂樹、山内智香子

3. 「移植肺への転移性腫瘍に対し動体追尾定位放射線治療を行った一例」(14:30-14:40)

京都大学医学部附属病院

岡林俊、新谷堯、光吉隆真、飯塚裕介、松尾幸憲、溝脇尚志

(14:40-15:10)

【Ⅰ-②部】一般演題

座長 倉敷中央病院 堤 ゆり江

発表時間 1 演題 10 分(発表 6 分、質疑 4 分)

4. 「前立腺癌小線源治療後に尿閉、血尿を契機に発見された spindle cell sarcoma の一例」(14:40-14:50)

神戸市立医療センター中央市民病院 放射線治療科

平岡伸也、今葦倍敏行、小坂恭弘、小倉健吾、服部貴之、緒方隆司、小久保雅樹

5. 「直腸癌に対する TS-1 併用術前化学放射線療法 of 検討」(14:50-15:00)

広島大学病院放射線治療科

今野伸樹、村上祐司、足立佳範、竹内有樹、高橋一平、三木健太郎、斎藤明登、西淵いくの、木村智樹、永田靖

6. 「硼素中性子線量の効果を記述する新しい生物学的等価線量の概念

—腫瘍線量表示における CBE factor への決別—」(15:00-15:10)

大阪医科大学 BNCT 共同医療センター

小野公二

・・・・・・・・・・ 休 憩 [コーヒープレイク 約 20 分 15:10-15:30] ・・・・・・・・・・

(15:30-16:00)

【Ⅰ-③部】一般演題

座長 京都大学 伊良皆 拓
発表時間 1演題 10分(発表 6分、質疑 4分)

7. 「肺 SBRT 施行前の診断用 CT から抽出された画像特徴量に基づく予後予測: 後方視的単施設研究」
(15:30-15:40)

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学専攻 情報理工医療学講座
柿野諒、中村光宏、光吉隆真、新谷堯、平島英明、松尾幸憲、溝脇尚志

8. 「乳房温存療法における VMAT の同時ブースト照射(SIB)への応用」(15:40-15:50)

社会医療法人 美杉会 佐藤病院 高精度放射線治療センター
社会医療法人 美杉会 佐藤病院 乳腺外科
京都大学医学部附属病院 放射線治療科
辰野佑哉、中越教介、中濱繁昭、北谷均、上田和光、河村正、中嶋啓雄、河合泰博、棕本宜学、高山賢二

9. 「IMRT を用いた全脳全脊髄照射の照射野つなぎ目部における線量変動の低減法の検討」(15:50-16:00)

京都大学医学部附属病院 放射線部
内藤浩司、越智悠介、高橋一平、中島健雄、宇藤恵、岸徳子、竹花恵一、棕本宜学、藤本隆広、
矢野慎輔、上田克彦、溝脇尚志、永田靖

(16:00-16:30)

【Ⅱ部】症例検討セッション

座長 京都大学 吉村通央

「肛門管癌化学放射線療法後の左鼠径部再々発」

市立長浜病院 放射線治療センター
伏木雅人
京都大学放射線治療科
松尾幸憲

(16:30-16:40)

【Ⅲ部】臨床試験紹介セッション

座長 京都大学 吉村通央

・・・・・・・・・・ 休 憩 [約 15 分 16:40-16:55] ・・・・・・・・・・

(16:55-17:55)

【特別講演】

座長 京都大学 溝脇尚志

「がん免疫療法の基礎からトランスレーショナルリサーチ」

国立がん研究センター 腫瘍免疫研究分野/免疫TR分野

富樫 庸介 先生

閉会の辞

京都大学 溝脇尚志

当日はご出席いただいた確認のため、ご施設名・ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。
ご記帳いただいたご施設名・ご芳名は、医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただきます。
何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【ご講演・ご発表に関するお願い】

日本製薬工業協会は、会員会社が主催ないし共催する講演会等は、演者の講演・発表内容を含めて全て当該会社の責任であり、医療用医薬品プロモーションコードを遵守した上で実施することとしております。
ご講演・ご発表される内容につきましては承認外使用の推奨、他社および他社品の中傷・誹謗とならないよう、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

共催 京都放射線腫瘍研究会

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン<高度がん医療を先導するがん医療人養成>

株式会社バリアンメディカルシステムズ

株式会社たけびし

ブレインラボ株式会社

東洋メディック株式会社

第一三共株式会社